

事務事業評価シート

(H.30)No.	1189	(H.29)No.	1189
-----------	------	-----------	------

事務事業名	教育フォーラム事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育総務室	内匠 勝也	

会計区分	事業コード	463601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育フォーラム事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	教育フォーラム事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施 策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
教育フォーラムの開催により、教育関係者、保護者、地域住民が一堂に会し、教育活動の実践・研究の成果発表の場、または交流の場とし、「名張市のめざす教育」「名張市のめざす子ども像」を共通認識し、市民みんなで子どもを育てるしくみを構築します。
事業内容
教育フォーラムの実施

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	教育フォーラムinなばり2017開催(11月25日) ・映画上映会「いただきますみそをつくるこどもたち」 ・講演会「未来につながる食育を考える」 ・教育ビジョン進捗状況報告 ・教育実践発表(つつじが丘小学校・南中学校・赤目中学校) ・本の帯コンクール、中学生のメッセージ表彰 ・体験コーナー等	教育フォーラム 12月1日開催予定 報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		160千円		200千円	200千円	200千円	200千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	160	0	200	200	200
人工数	職員		0.50人	0.54人	0.54人	0.54人	0.54人
	臨時職員等		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
②概算人件費	0千円	4,060千円	0千円	4,356千円	4,356千円	4,356千円	4,356千円
①+②総事業費	0千円	4,220千円	0千円	4,556千円	4,556千円	4,556千円	4,556千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成29年度は「食育の推進」をテーマにフォーラムを開催し、映画上映会のほか、三重大学教育学部の磯部田香教授を講師に迎え講演会を開催したほか、各種主体の参画により、多数の体験展示コーナーを設け、子どもから大人まで皆が集えるフォーラムとしました。教育活動の実践・研究の成果発表、子どもたちの未来について市民ぐるみで考える機会や学ぶ機会を提供する場という観点から、825人の参加者があったことは一定の成果が得られたと考えます。本事業は、家庭、地域、学校が十分に連携して教育活動や学校運営に取り組み、魅力ある地域に開かれた学校づくりを進めるために必要な事業のひとつとなっています。開会行事や体験展示等に、地域やPTA、各種団体の皆様に参画いただいています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
 フォーラムの開催目的やテーマを明確にし、必要な財源を確保しながら、継続的に市民や保護者の皆様に参画いただき、教育活動の成果や課題等を共有できる内容となるよう工夫が必要です。また、フォーラム開催の周知にさらに力を入れて来場者数を増やすよう努めます。教育フォーラムは、教育関係者、保護者、地域住民など、子どもの教育に関わるすべての人が一堂に会して、成果の発表や課題を互いに交流する中で学びあう場として位置づけていることから、成果や課題を踏まえた工夫・改善を重ね、継続していくことが必要です。

6. 事務事業の取組に関する市の計画

第二次名張市子ども教育ビジョン